



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 沖縄銀行
コード番号 8397 URL <http://www.okinawa-bank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画本部長

(氏名) 玉城 義昭

(氏名) 西平 典明

TEL 098-867-2141

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(表示単位未満は切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	12,502	△2.8	2,197	△1.7	1,288	△20.2
24年3月期第1四半期	12,863	△9.9	2,237	△35.7	1,614	2.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 815百万円 (△59.7%) 24年3月期第1四半期 2,023百万円 (81.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	62.51	62.41
24年3月期第1四半期	77.76	77.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,914,246	119,593	6.0
24年3月期	1,864,838	120,155	6.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 115,928百万円 24年3月期 116,566百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	32.50	—	32.50	65.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	32.50	—	32.50	65.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,600	△14.2	2,500	△28.2	121.85
通期	9,900	△5.2	5,500	△7.9	268.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当するものであります。
詳細は、添付資料P.2「2.サマリー情報(その他)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	21,400,000 株	24年3月期	21,400,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	971,417 株	24年3月期	771,275 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	20,604,461 株	24年3月期1Q	20,761,136 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) (参考) 四半期信託財産残高表	6
4. 補足情報	7
(1) 損益の状況【単体】	7
(2) 預金等、貸出金の残高【単体】	8
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体・連結】	9
(4) 自己資本比率（国内基準）【単体・連結】	10
(5) 有価証券の評価差額【連結】	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、国債等債券売却益及び役員取引等収益が増加したものの、貸出金利息及び連結子会社の売上高の減少等によるその他の業務収益の減少などにより、前年同期比3億61百万円減少の125億2百万円となりました。

また、経常費用は、与信費用が増加する一方で、預金利息の減少や連結子会社の売上原価の減少等によるその他の業務費用の減少などから、前年同期比3億21百万円減少の103億4百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比39百万円減少の21億97百万円となりました。また、四半期純利益は法人税等の増加により前年同期比3億26百万円減少の12億88百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は前連結会計年度末比494億円増加の1兆9,142億円、純資産は前連結会計年度末比5億円減少の1,195億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金は、公金預金の増加に加え、退職金獲得及び夏季賞与資金の受入などにより、個人預金が増加したほか、法人預金についても継続して「SR(ストロングリレーション)活動」に注力し、資金トレースに努めた結果、銀行・信託勘定合計で前連結会計年度末比269億円増加の1兆7,297億円となりました。

貸出金は、季節的要因により法人向け貸出が減少したことなどから、銀行・信託勘定合計で前連結会計年度末比471億円減少の1兆1,414億円となりました。

有価証券は、国債、地方債等公共債を中心に金融市場動向をにらみながら資金の効率的運用と安定収益の確保に努めた結果、前連結会計年度末比327億円増加の5,719億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表した数値から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当行及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
現金預け金	42,504	35,179
コールローン及び買入手形	45,939	116,915
買入金銭債権	242	246
有価証券	539,256	571,984
貸出金	1,181,866	1,135,216
外国為替	2,425	3,026
リース債権及びリース投資資産	15,563	15,308
その他資産	15,439	15,057
有形固定資産	17,844	17,671
無形固定資産	1,487	1,515
繰延税金資産	3,696	4,017
支払承諾見返	11,297	11,295
貸倒引当金	△12,724	△13,189
資産の部合計	1,864,838	1,914,246
負債の部		
預金	1,643,063	1,661,876
借入金	11,605	10,597
外国為替	9	35
信託勘定借	53,114	61,725
その他負債	17,263	41,441
賞与引当金	688	175
役員賞与引当金	31	6
退職給付引当金	5,808	5,750
役員退職慰労引当金	24	19
信託元本補填引当金	109	65
利息返還損失引当金	141	138
睡眠預金払戻損失引当金	56	56
繰延税金負債	0	0
再評価に係る繰延税金負債	1,468	1,468
支払承諾	11,297	11,295
負債の部合計	1,744,683	1,794,652
純資産の部		
資本金	22,725	22,725
資本剰余金	17,629	17,629
利益剰余金	73,348	73,966
自己株式	△2,685	△3,386
株主資本合計	111,018	110,935
その他有価証券評価差額金	4,394	3,842
繰延ヘッジ損益	—	△1
土地再評価差額金	1,152	1,152
その他の包括利益累計額合計	5,547	4,993
新株予約権	105	105
少数株主持分	3,483	3,559
純資産の部合計	120,155	119,593
負債及び純資産の部合計	1,864,838	1,914,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
経常収益	12,863	12,502
資金運用収益	7,970	7,768
(うち貸出金利息)	7,014	6,876
(うち有価証券利息配当金)	894	854
信託報酬	110	88
役務取引等収益	958	1,048
その他業務収益	3,674	3,493
その他経常収益	150	102
経常費用	10,625	10,304
資金調達費用	1,388	911
(うち預金利息)	1,189	705
役務取引等費用	384	439
その他業務費用	2,809	2,404
営業経費	5,278	5,357
その他経常費用	765	1,192
経常利益	2,237	2,197
特別損失	2	2
固定資産処分損	1	2
減損損失	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,235	2,195
法人税、住民税及び事業税	607	882
法人税等調整額	△77	△57
法人税等合計	529	824
少数株主損益調整前四半期純利益	1,705	1,370
少数株主利益	91	82
四半期純利益	1,614	1,288

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,705	1,370
その他の包括利益	318	△555
その他有価証券評価差額金	329	△553
繰延ヘッジ損益	△11	△1
土地再評価差額金	△0	△0
四半期包括利益	2,023	815
親会社株主に係る四半期包括利益	1,932	733
少数株主に係る四半期包括利益	90	81

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常 収益	9,277	2,490	11,767	735	12,503	△1	12,502
セグメント間の内部 経常収益	80	81	162	578	740	△740	—
計	9,358	2,571	11,930	1,313	13,243	△741	12,502
セグメント利益	1,786	157	1,943	257	2,201	△3	2,197

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
 2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、信用保証業等であります。
 3. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
 4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年5月11日開催の取締役会における自己株式の取得決議（取得株式数上限20万株、取得価格総額上限900百万円、取得期間平成24年5月14日から平成24年6月22日まで）に基づき、当第1四半期連結累計期間において、市場から自己株式（20万株、700百万円）を取得しました。

上記の事由を主因として、当第1四半期連結会計期間末の自己株式の残高は、前連結会計年度末比701百万円増加の3,386百万円となっております。

(6) (参考) 四半期信託財産残高表

(単位：百万円)

資産		
科目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
貸出金	6,648	6,188
その他債権	6	5
銀行勘定貸	53,114	61,725
合計	59,769	67,920

(単位：百万円)

負債		
科目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
金銭信託	59,769	67,920
合計	59,769	67,920

4. 補足情報

(1) 損益の状況【単体】

経常収益は、貸出金利息が減少したものの、国債等債券売却益及び役員取引等収益の増加などにより、前年同期比44百万円増加の93億59百万円となりました。

コア業務純益は経費が増加したものの、資金利益及び役員取引等利益の増加などにより、前年同期比2億12百万円増加の22億75百万円となりました。

経常利益は、与信費用の増加があったものの、コア業務純益及び有価証券関係損益の増加などにより、前年同期比1億35百万円増加の17億86百万円となりました。また、四半期純利益は、法人税等の増加により前年同期比3億10百万円減少の11億59百万円となりました。

(単位：百万円)

科 目	平成25年3月期 第1四半期 (3ヶ月)	対前年同期比	平成24年3月期 第1四半期 (3ヶ月)	平成25年3月期 通期業績予想 (12ヶ月)
経常収益	9,359	44	9,315	36,100
業務粗利益	7,726	550	7,176	
資金利益	6,667	272	6,394	
役員取引等利益	514	25	488	
うち信託勘定不良債権処理額 ①	56	37	19	
その他業務利益	545	251	293	
うち国債等債券関係損益	498	254	243	
経費(除く臨時処理分)	5,009	120	4,888	
うち人件費	2,386	43	2,343	
うち物件費	2,187	68	2,118	
コア業務純益	2,275	212	2,062	10,000
一般貸倒引当金繰入額 ②	△ 11	80	△ 92	
業務純益	2,728	348	2,379	10,000
臨時損益	△ 942	△ 213	△ 729	
うち償却債権取立益	3	△ 34	37	
うち株式等関係損益	△ 393	△ 169	△ 223	
うち不良債権処理額 ③	519	37	482	
経常利益	1,786	135	1,650	8,700
特別損益	△ 2	△ 0	△ 1	
税引前四半期純利益	1,783	134	1,648	
法人税、住民税及び事業税	704	307	397	
法人税等調整額	△ 80	138	△ 219	
四半期純利益	1,159	△ 310	1,470	5,200
与信費用 (①+②+③)	564	155	409	

(注) 1. コア業務純益：業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益＋信託勘定不良債権処理額

2. 業 務 純 益：業務粗利益－経費(除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額

(2) 預金等、貸出金の残高【単体】

① 預金等

預金は、退職金、給与、年金振込及び財形・積立預金の獲得を中心に個人預金の増強に努めたほか、法人預金についても継続して「SR（ストロングリレーション）活動」に注力し、資金トレースに努めた結果、前年同期比 564 億円増加の 1 兆 7,409 億円となりました。

		(単位：億円)
		平成 24 年 6 月末
預 金		17,409
	うち 個人預金	10,970
預 金 (平残)		17,178

(注) 信託勘定を含んでおります。

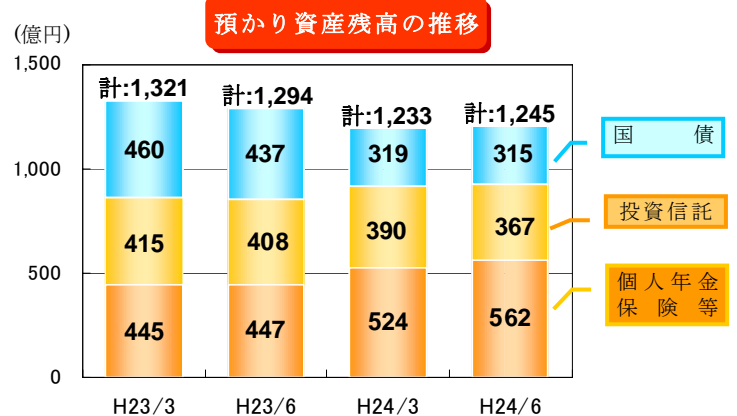
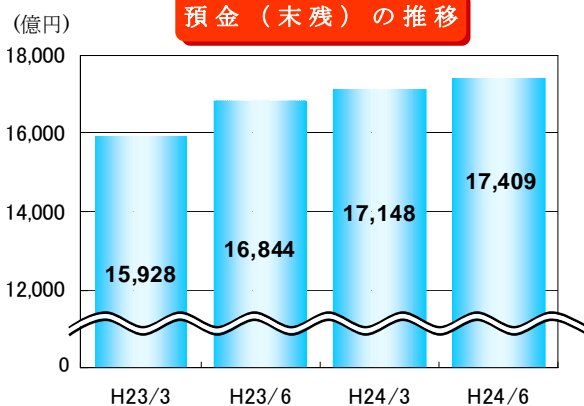
		(参考)	(単位：億円)
		平成 23 年 6 月末	平成 24 年 3 月末
		16,844	17,148
		10,575	10,827
		16,275	16,704

〔預金を除く預かり資産残高〕

		(単位：億円)
		平成 24 年 6 月末
預かり資産		1,245
	国債	315
	投資信託	367
	個人年金保険等	562

〔預かり資産〕お客様の資産運用商品を総称して、「預かり資産」と呼んでいます。

		(参考)	(単位：億円)
		平成 23 年 6 月末	平成 24 年 3 月末
		1,294	1,233
		437	319
		408	390
		447	524



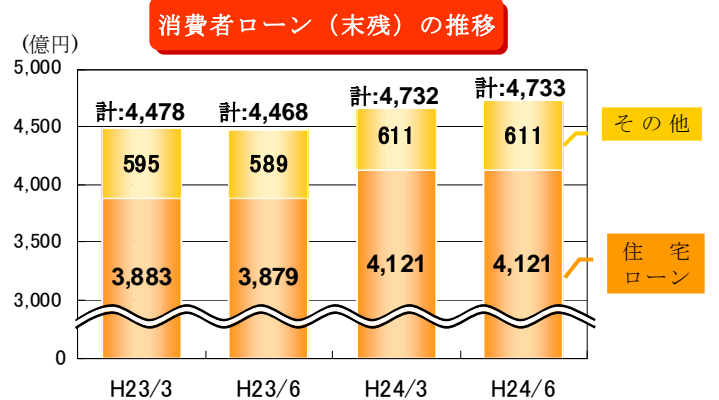
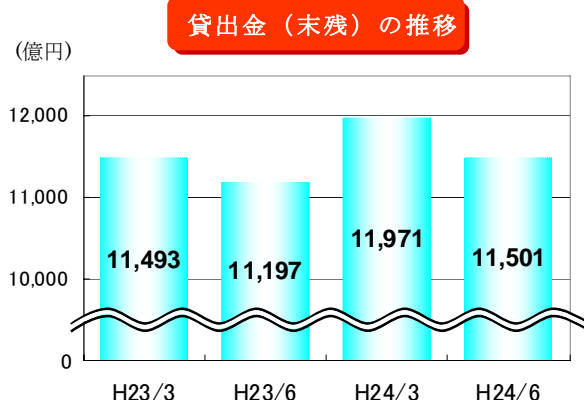
② 貸出金

貸出金は、生活密着型ローンを中心に営業強化に努めた結果、住宅ローン及びアパートローンが順調に増加したことなどから、前年同期比 303 億円増加の 1 兆 1,501 億円となりました。

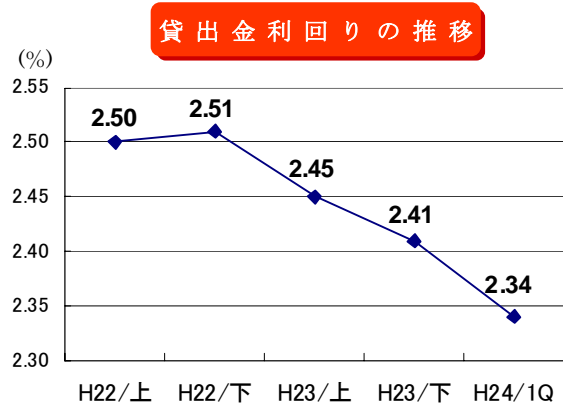
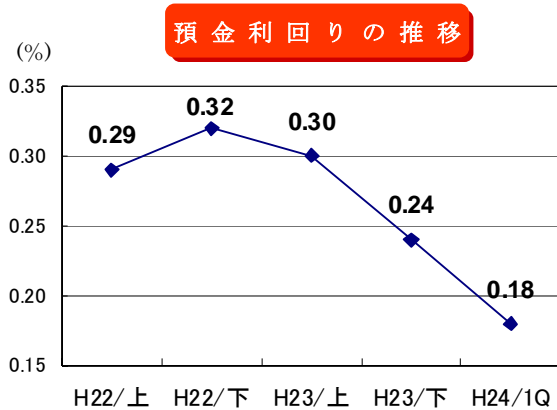
		(単位：億円)
		平成 24 年 6 月末
貸 出 金		11,501
	うち 消費者ローン	4,733
	うち 住宅ローン	4,121
貸 出 金 (平残)		11,470

(注) 信託勘定を含んでおります。

		(参考)	(単位：億円)
		平成 23 年 6 月末	平成 24 年 3 月末
		11,197	11,971
		4,468	4,732
		3,879	4,121
		11,153	11,217



③利回りの推移



(注1) 「H24/1Q」: 第1四半期(4~6月)の会計期間利回り
 (注2) 信託勘定を含んでおります。

(3) 金融再生法ベースの 카테고리による開示

開示債権は、取引先の経営改善による債務者区分のランクアップに努めた結果、総額で前年同期比6億円減少の197億円となり、開示債権比率は0.11ポイント低下の1.69%となりました。(単体)

【単体】

(単位: 億円)

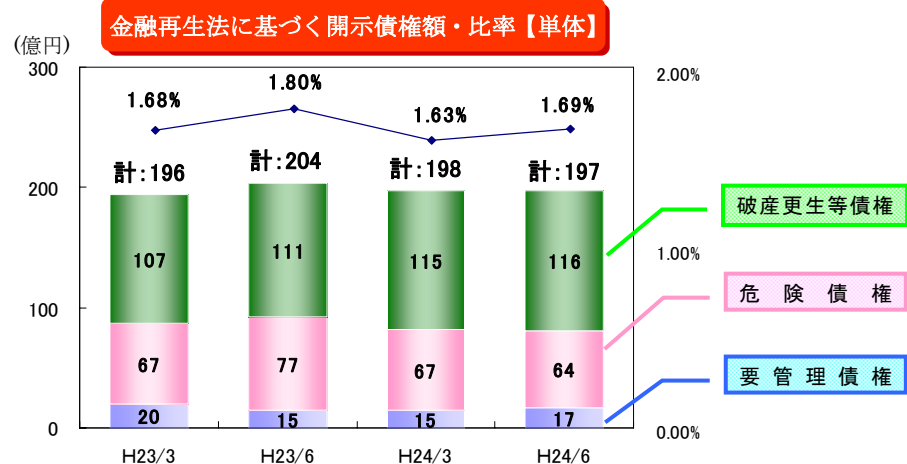
	平成24年6月末	平成23年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	116	111
危険債権	64	77
要管理債権	17	15
合計	197 (1.69%)	204 (1.80%)

(参考)

(単位: 億円)

	平成24年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	115
危険債権	67
要管理債権	15
合計	198 (1.63%)

(注) 信託勘定を含んでおります。



【連結】

(単位: 億円)

	平成24年6月末	平成23年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	125	120
危険債権	64	78
要管理債権	17	15
合計	207 (1.79%)	214 (1.90%)

(参考)

(単位: 億円)

	平成24年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	124
危険債権	67
要管理債権	15
合計	207 (1.73%)

(注) 信託勘定を含んでおります。

(4) 自己資本比率 (国内基準)

【単体】

	平成24年9月末 (予想値)
単体自己資本比率	12% 台
単体Tier I 比率	12% 台

(参考)

	平成24年3月末 (実績)
	12.25 %
	12.01 %

【連結】

	平成24年9月末 (予想値)
連結自己資本比率	13% 台
連結Tier I 比率	12% 台

(参考)

	平成24年3月末 (実績)
	12.95 %
	12.59 %

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(5) 有価証券の評価差額

【連結】

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含めておりません。

(単位：億円)

	平成24年6月末				平成23年6月末			
	帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	63	1	1	0	120	2	2	0
債券	53	1	1	-	110	2	2	-
その他(外国債券)	10	△0	-	0	10	△0	-	0

(参考)

(単位：億円)

	平成24年3月末			
	帳簿 価額	含み損益		
		うち益	うち損	
	77	1	1	0
	67	1	1	-
	10	△0	-	0

(単位：億円)

	平成24年6月末				平成23年6月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	5,633	58	86	27	5,014	59	81	22
株式	131	△11	12	24	159	3	20	17
債券	5,313	70	70	0	4,582	55	57	2
その他	189	0	3	3	272	0	2	2
うち外国債券	134	2	2	-	237	2	2	0

(参考)

(単位：億円)

	平成24年3月末			
	時価	評価差額		
		うち益	うち損	
	5,292	67	83	16
	154	4	18	14
	4,946	60	60	0
	191	2	4	1
	145	2	2	0

(注) 各四半期末の「含み損益」及び「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額(償却原価法適用後・減損処理後)と時価との差額を計上しております。

その他有価証券の評価差額【連結】

